

学年
通信

魂知輪

令和7年2月27日
第44号
小代中学校3年生
発行者:梅谷俊平

福祉学習&パラスポーツ体験

今年度の福祉体験学習は、こぶし園に勤務されておられる介護員さん（小代中学校の先輩）の話や、スライドを見ながら『ボランティアとは』、『生きるってどういうこと』という話を主任相談員の方にいただきました。

福…自分の幸せ
祉…相手の幸せ

⑤だんの
④らしの
③あわせ



福祉という言葉は、知っていましたが、漢字の意味を改めて知った人が多いのではないのでしょうか。

- もし周りで困っている人がいたら自分ができていることを考えて手を差し伸べてみてください。
- それが小さな一歩でもボランティア活動を通じて大きな社会貢献に繋がるかもしれません。
- あなたの行動が他の人を元気づけ、社会をよりよくしていくことができるかもしれません。

最後にこのような話をさせていただきました。ボランティア活動をしたことがある人もない人も、これからしようと思っている人も、人々が協力し合い、共に支え合っていくことの大切さを教えていただきました。

4時間目には、シットイングバレーをしました。動画で見るより難しかったのではないのでしょうか。途中ラリーが続き、それっぽくなった瞬間、やはり但馬ベスト4の意地を見せたなと思っておりました。また、別のパラスポーツも触れる機会があるかもしれませんね。

9年間ありがとうございました

お祝い給食を作ってくださいました。メロンを食べたのはいつぶりだろうと思いながら、美味しくいただきました。数年前に、栄養教諭の先生に授業をしていただいた時に、

『先生方の給食の量は、7割くらいが適量です』と説明されました。当時はご飯、おかずすべてがてんこ盛りになっていた私の給食を思い出して生徒たちが笑うのをこらえていたことをいつも思い出します。私たちの健康を考えて、見た目、味、栄養にこだわって毎日作っていただきました。小代中の食缶はほとんど残飯が出ないので、そこは誇りに思います。ですが、好き嫌いが無いかというそういうわけでもなさそうです。しっかりと自分の体を作るために、食事にはこれからも気を付けてほしいと思います。

給食センターのみなさん、9年間ありがとうございました。

